

# 学部単位で交流推進

## 八学大とメージョー大(タイ)



ハ  
戸

八戸学院大学の地域経営学部と「学術交流に関する覚書」を交わしているタイのメージョー大学総合管理学部の教員団が19日、初めて八学大を訪れた。両大学は今後、学生や教員の相互交流に本格的に取り組む方針を確認。メージョー大側は本年度中に同大の学生を八学大に派遣したい考えを示し、八学大側も受け入れ準備を進めるとした。

(千葉真由美)

メージョー大はタイ北部・チェンマイにある国立の総合大学で、21学部(学生約1万5千人、教員・研究者約1700人が在籍している。総合管理学部では、行政学や経営学など社会科学系の分野を学ぶという。八学大地域経営学部の横田将志准教授が2023年夏にメージョー大を訪れたのをきっかけに交流の機運が高まり、24年1月に学部間で覚書を締結した。

八学大を訪問したのは、メージョー大総合管理学部長のスリヤジャラ副学長ら教員22人。小林真学長は、

三本木温副学長(右から3人目)ら八戸学院大の教員と記念撮影するスリヤジャラ副学長(同4人目)らメージョー大学総合管理学部の教員たち

## 学生相互受け入れ検討

コロナ禍で中断していた海外との交流活動再開に意欲を示し「具体的な意見交換によって、次につながるような有意義な話ができればと思う」とあいさつした。

メージョー大側は、八学大からの留学生を受け入れる用意があることや、八学大教員を客員研究員として招き、行政学や農業、水産などの研究に共同で取り組みたい意向も示した。

メージョー大の一行は同日、日本の地方行政や地域マネジメントに関する知見を得るため、八戸市庁を訪問。熊谷雄一市長と懇談したスリヤジャラ副学長は「行政システムや観光に関する取り組みなどを学んで持ち帰り、チェンマイの発展に役立てたい」と述べた。